高妻山山行

日時　平成23年10月13日～15日

場所　長野県

参加　3名

13日

　高妻山、黒姫山に登山の予定で3名が出発、黒姫山はクラブ山行、高妻山は自主山行で計画。小田さんの車で7時に下総病院前でピックアップ。関越道で目的地にむかったが、途中事故渋滞も含めかなりの時間を要した。それでもかなり早めに付きそうなので、須坂ICで下車し、米子大瀑布(群馬県)を散策することになった。須坂ICから約40分位であったか、間もなく到着した。今日はウイークデイであったので観光地はそれほどの混みようではなかった。初めて訪れたところで、紅葉がかなり進み見ごたえがあった。いくつかの滝がありしかも落差が80ｍを超しており、水量が少ないが見事な滝だった。その滝と紅葉と険しい岩肌がマッチしていてなかなかのところであった。昔は硫黄の採掘をしていた跡地も残されており、当時ここで自営しながら集落を作り硫黄の採掘活動をしていたのだなと一時感慨に老けた。散策後戸隠高原にむけて出発した。戸隠イースタンキャンプ場には15:30ごろ到着した。5人用のバンガローを2泊予約し（2泊1万円）早速夕食の準備にかかった。付近からたき火用の枯れ枝や枯葉を集め、たき火も開始した。持参のお酒で無事の到着と、明日からの登山無事を祈願し乾杯して夕食をとった。夕食は持参したレトルト食品を温めるだけの簡単なものだが、とてもおいしく頂けた。食事がすめば何もすることがないので、早目に就寝。しかし当日は天気がよく、放射冷却も加わり、バンガローに中は冷えに冷え3人とも寒さに震えながら一夜を過ごした。寝袋やエアマットで防備はしたのであるが、寒さはそれ以上に厳しかった。

14日

寒さをこらえながら一夜を過ごした後、4時ごろ起床。バンガローの中で早速朝食の準備にかかる。レトルトの味噌汁や缶詰で簡単な朝食を済ませ、車で戸隠牧場の入口まで行った。5:30登山開始、天気は良さそうだ。眼前の戸隠山が満月を頂きそびえ立つ。後方は薄らと太陽の光が感じられる程度の飯縄山の黒い山肌が浮かび上がる。しばらく牧場の中を歩いて登山口についたが、途中当初予定していた正規ルートの入口を間違い、右寄りに牧場の道を歩いたため、昭文社の地図に記載されていないルートから登ることになった。ヤマレコでそのルートは確認をしていたので、改めて引き返すこともなかろうと判断し、そのまま登山を続行した。急な登りが続く。緩斜面を歩く準備運動がなかったためかなり肉体的に疲労感が募った。あまり見晴の良くない山道を黙々と登った。約2時間登ったあたりからやっと視界開け始め、妙高の山並みが見え始めた。更に1時間ぐらい登ったところでやっと正規ルートと合流した。場所は六弥勒である。そこから目指す高妻山がかなり近くに見ることが出来た。少し休息後、更に登山を開始した。10:30ごろ十阿弥陀に到着、頂上まではもう少しだ。小田さんが六弥勒のあたりで足に痙攣の違和感を訴え始めた。持参のサポータで応急措置や私のサポータも利用して足を固めた。十阿弥陀のあたりでは更に具合が悪くなったが、だましだまし登山を続行した。登山道は更に険しくなり、勾配も更に増した。そんな登山道を30分ぐらい続けやっと頂上に到着した。10:40ゴロであった。早速、会旗を広げ記念写真を撮った。天気は晴れていたが、靄が少し掛かり北アルプスの遠望は薄らと望めるだけであった。近くの山々ははっきりときれいに見ることが出来た。乙妻山、妙高山、火打山、雨飾山、戸隠山等々が紅葉に染まりながら眼前に美しく輝いていた。昼食を済ませ下山開始。11:30ごろスタートし、13時ごろに五地蔵山に到着。本来は登りの時に通るところであったが今回は下山時に通ることになった。尾根道を下山していくと間もなく一不動避難小屋に到着した。ここから約1時間30分で戸隠牧場入口に到着する予定だ。かなり急な下山道を慎重に下山開始した。途中沢道となり、滝を下らなければならない箇所があり、そこはさすがに鎖が施されていた。2か所ぐらい鎖場を経て15時ごろ戸隠牧場入口に到着し、そこから約20分で牧場入口についた。やれやれだ。自分も下山中に痙攣を経験しこの山の厳しさを味わった。幸い小田さんは何とか下山することが出来3名とも無事に下山することが出来た。戸隠牧場を歩いているときから雨が降り始め、車についたときにはかなりの雨足となっていた。キャンプ場の管理センターに寄り、缶ビールと毛布を調達し、バンガローに引き返した。バンガロー内で早速無事の下山を祝し乾杯後、夕食の準備にかかった。やはりレトルトの食材を温め食べた。バンガロー内は蛍光灯がともりとても快適であった。雨にせいか比較的暖かく昨夜のようにはならないことを願い早目に就寝。

15日

朝から雨なので黒姫山の登山は断念し、早目に帰宅することにした。早く出発しすぎたので、途中ナウマン像の博物館を見学する予定であったが到着時は会館しておらず、待ち時間が長かったので見学をあきらめ、帰宅の道を急いだ。途中リンゴを買ったり土産を買ったりで15時ごろ自宅についた。